

男子ロードレース

井上(松山学院) 3位奮闘



●【男子個人ロードレース】3位入賞を果たした松山学院の井上悠喜―鳥取県倉吉市北栄町特設ロードコース●総合優勝を喜ぶ松山学院の部員たち―倉吉市倉吉自転車競技場

学校対抗総合8連覇に貢献

ポイントレースを制し、松山学院の井上悠喜が、ロードレースでも3位と奮闘した。1周16・2キロを5周する81キロの長丁場。最低でも入賞は確保する―と序盤から先頭集団を捉えられ、位置を取り、レースの出方をうかがった。4周目に入ったころ、井上は先頭集団に近づく。勝利を確信した。最後まで粘り続け、3位でフィニッシュ。再び表彰台に上がった。レースにはロードを得意とする松山学院の総得点で松山学院の総合8連覇が決まった。優勝カップを受け取った井上悠喜は、部員全員で喜びを分かち合った。(宇和上翼)

きょうの紙面 済美初戦は東洋大姫路 19

- 八幡浜市議選 無投票に 3
- アマ囲碁最強戦が開幕 4
- おんまく花火城下彩る 5
- クロヌリハイクに挑戦 6
- 食支援地域交流の場に 8
- 久万高原に「木育」団体 9
- ゴルフ河本力 優勝逃す 20
- 自転車ロード 三谷2位 21

hime

奈斤 昌昌

(第3種郵便物認可)

三谷(松山学院) 健闘 2位

女子個人ロードレース



【女子個人ロードレース】2位に入った松山学院の三谷優空(左から2人目)―鳥取県倉吉市北栄町特設ロードコース



中国インハイ 2025 第11日 初出場優勝を果たした。男子は野田学園(山口)が育英兵庫に3-1で勝ち、初制覇した。

全国高校総体(インターハイ) 第11日は3日、鳥取県倉吉市北栄町特設コースなどで行われ、自転車個人ロードレースで松山学院は女子の三谷優空が準優勝、男子は井上悠喜が3位に入った。同校は学校対抗総合8連覇を果たした。卓球団体の女子は星稜国際横浜(神奈川)が四天寺大(大阪)を3-2で下し、初出場優勝を果たした。男子は野田学園(山口)が育英兵庫に3-1で勝ち、初制覇した。

重い展開 諦めず追走 準V 漂う充実感

女子ロードレースで松山学院の三谷優空が最後まで諦めずにペダルを踏み続け、2位に食い込んだ。16・2キロを2周するコースで競った。最初からスタートした三谷は、レースを優位に進ぶことが大事と序盤から積極的な走りで仕掛ける戦術で挑んだ。しかし、他の選手がスローペースを得意とする優勝候補の細嶋凛々音(京都・北桑田)をマークする形になったため、レースは重い展開で進んだ。最終周、先頭にいた細嶋が徐々にペースを上げて独走態勢となつたが、三谷は踏ん張って追走。2年前に広島県から入学した際、大きな目標の一つにインターハイのロードレース優勝を掲げた。その目標を「諦めることは最後までしたくなかった」と食らいついた。2番フィニッシュラインに到達した三谷は、少し浮かない表情で三谷。それでも「4日間の大会は、とても充実していた。精一杯頑張ることができた」と振り返った。(宇和上翼)

きょうの紙面 戦時の生活知って 県歴博で 8

- 丹下健三特別展始まる 3
- 松山で三津浜花火大会 5
- 溶接甲子園橋本さんV 6
- 米労働統計局長を解任 7
- 三崎で赤ウニ漁が解禁 9
- FC今治大分に1-0 16
- 四国ダービー 愛媛連敗 17
- 自転車県勢 優勝相次ぐ 19

hime



男子チームスプリントで3位に入賞した松山学院の選手たち(左から)玉井葵妃、江崎結衣、松山学院監督の横田大輔(宇和上寛)

男子チームスプリント順位決定戦

2年生トリオ 息合わせ3位 予選の反省点修正

松山学院

男子チームスプリントの松山学院は、予選の反省点をしっかりと修正し、順位決定戦で3位をつかみ取った。中距離で得意な松山学院は、予選で3位決定戦に進出した。予選では、松山学院は、予選で3位決定戦に進出した。予選では、松山学院は、予選で3位決定戦に進出した。

予選の反省点修正
予選では、松山学院は、予選で3位決定戦に進出した。予選では、松山学院は、予選で3位決定戦に進出した。

全国高校総体(インターハイ)第9日は1日、鳥取県倉吉市倉吉自転車競技場などで行われ、自転車の女子3000m個人追い抜きで三谷優空(松山学院)が3分54秒838をマークし2位、男子チームスプリントで松山学院が3位に入賞した。



男子3000m個人追い抜きは、松田奏太郎(松山学院)が予選1位で決勝進出を決め、2位以上を確定させた。弓道団体は、男子の松山南と女子の聖カタリナ学園が予選を突破、それぞれ決勝トーナメントに進んだ。

三谷(松山学院)2位に手応え

女子3000追い抜き

頂点届かず悔しさも



女子3000m個人追い抜きで2位に入賞した松山学院の三谷優空(鳥取県倉吉市倉吉自転車競技場提供写真)

女子の三谷優空は、予選で2位に手応えを感じた。予選では、三谷優空は、予選で2位に手応えを感じた。予選では、三谷優空は、予選で2位に手応えを感じた。

全国高校総体(インターハイ)第8日は31日、鳥取県倉吉自転車競技場などで行われ、自転車トラック種目の女子1000mタイムトライアルで、玉井葵妃(松山学院)が1分16秒714を出し4位、江崎結衣(松山学院)が1分16秒731で5位入賞した。



女子3000m個人追い抜きは三谷優空(松山学院)が予選2位で決勝進出を決めた。ボクシングは2、3回戦があり、いずれも新田勢でバンタム級の利根川世道とウェルター級の望戸健士郎、ミドル級の林将太郎が準々決勝に進んだ。



短い直線 攻略に苦戦

女子1000mタイムトライアルで4位入賞した松山学院の玉井葵妃(右)と5位の江崎結衣(左)(鳥取県倉吉市提供写真)

自転車女子1000mタイムトライアルで4位の玉井葵妃と5位の江崎結衣の松山学院勢。直線が短いコースへの対応がうまくいかず悔しい結果となった。なによりある瀬戸風バンクより約70m短い1周333mのコースがインターハイの舞台。直線が短く「思ったよりキアが上がらなかった」と玉井が振り返れば、江崎も前に進みづらく重かった。攻略に苦戦したことを明かした。入賞したもの、2人とも「もっと上の順位を目指していた」と悔しさをにじませる。

玉井4位 江崎は5位

松山学院

女子1000mタイムトライアル

自転車

玉井葵妃(松山学院)が4位、江崎結衣(松山学院)が5位入賞した。

女子1000mタイムトライアルで4位の玉井葵妃と5位の江崎結衣の松山学院勢。直線が短いコースへの対応がうまくいかず悔しい結果となった。

きょうの紙面 「第3のたい飯」が誕生 14

伊方建て替え計画なし 3
全国学テの結果分析 3
核のない未来を考える 5
神戸でNIE全国大会 7
おもしろ不思議水族館 8
絶滅の謎に楽しく迫る 8
坊っちゃん列車の模型 14
自転車女子で玉井4位 20

女子1000mタイムトライアルで4位の玉井葵妃と5位の江崎結衣の松山学院勢。直線が短いコースへの対応がうまくいかず悔しい結果となった。